



NDO サービスのアップグレードまたはダウングレード

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [Cisco App Store を使用した NDO サービスのアップグレード \(3 ページ\)](#)
- [NDO サービスの手動アップグレード \(5 ページ\)](#)

概要

ここでは、Cisco Nexus Dashboard に導入されている Cisco Nexus Dashboard Orchestrator リリース 3.2 (1) 以降をアップグレードまたはダウングレードする方法について説明します。

VMware ESX VM または Cisco Application Services Engine に導入されている以前のリリースを実行している場合は、「[Nexus ダッシュボードへの既存のクラスタの移行](#)」の章の説明に従って、新しいクラスタを導入し、既存のクラスタから設定を転送する必要があります。Nexus Dashboard Orchestrator 導入ガイド。

前提条件とガイドライン

Cisco Nexus Dashboard Orchestrator クラスタをアップグレードまたはダウングレードする前に、次の手順を実行します。

- リリース 3.2(1) より前のリリースからのステートフルアップグレードはサポートされていません。

以前のリリースからアップグレードする場合は、この章の残りの部分をスキップし、『[Nexus Dashboard Orchestrator Deployment Guide](#)』の「[Migrating Existing Cluster to Nexus Dashboard](#)」の項に記載されている手順に従ってください。

- 現在の Nexus ダッシュボードクラスタが正常であることを確認します。

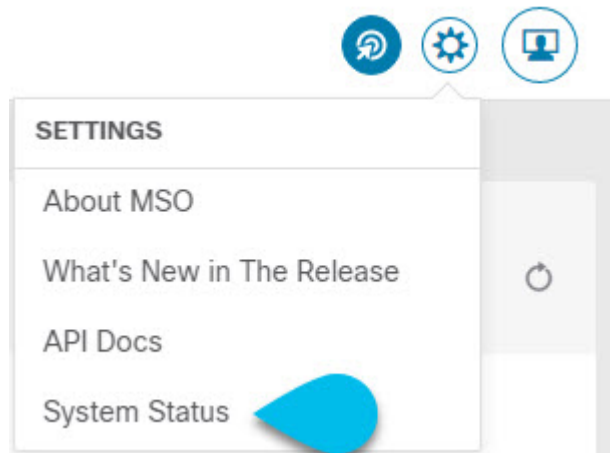
Nexus Dashboard クラスタの状態は、次の 2 つの方法のいずれかで確認できます。

- Nexus Dashboard GUI にログインし、[システム概要 (System Overview)] ページでシステム ステータスを確認します。
- 任意のノードに直接レスキューユーザとしてログインし、次のコマンドを実行します。

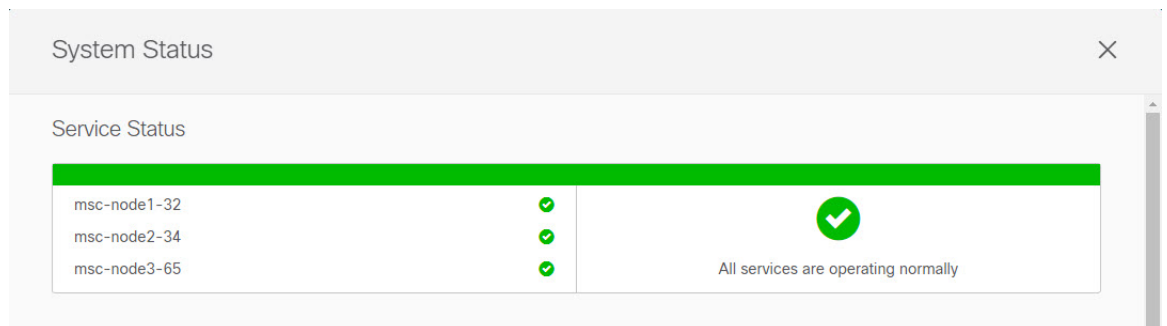
```
# acs health
All components are healthy
```

- 現在の Cisco Nexus Dashboard Orchestrator が正常に動作していることを確認します。

[設定 (Settings)] > [システム ステータス (System Status)] に移動して、Nexus Dashboard Orchestrator サービスのステータスを確認できます。



次に、すべてのノードとサービスのステータスが正常であることを確認します。



- アップグレードは次のいずれかの方法の NDO サービスで実行できます。
 - [Cisco App Store](#) を使用した [NDO サービスのアップグレード \(3 ページ\)](#) の説明に従って、Nexus Dashboard の App Store を使用します。
- この場合、Cisco DC App Center は、管理ネットワーク経由で直接、またはプロキシ設定を使用して、Nexus Dashboard から到達可能である必要があります。Nexus Dashboard のプロキシ設定については、『[Nexus Dashboard User Guide](#)』を参照してください。



(注) App Store では、入手可能なサービスの最新バージョンにのみアップグレードできます。つまり、リリース 3.4(1) が使用可能な場合、App Store を使用してリリース 3.3(1) にアップグレードすることはできず、以下に説明する手動のアップグレードプロセスを使用する必要があります。

- [NDO サービスの手動アップグレード \(5 ページ\)](#) の説明に従って、新しいアプリケーション イメージを手動でアップロードします。

この方法は、DC App Center への接続を確立できない場合、または使用可能な最新リリースではないアプリケーションのバージョンにアップグレードする場合に使用できます。

- Nexus Dashboard Orchestrator をリリース 3.3(1) 以降にアップグレードした後に新しい Cloud APIC サイトを追加および管理する場合は、それらのサイトが Cloud APIC リリース 5.2(1) 以降を実行していることを確認してください。

以前のリリースを実行しているクラウド APIC サイトのオンボーディングと管理は、Nexus Dashboard Orchestrator 3.3(1) ではサポートされていません。

- リリース 3.3(1) より前のリリースへのダウングレードはサポートされていません。

以前のリリースにダウングレードする場合は、以前のリリースでサポートされているプラットフォームに新しい Nexus Dashboard Orchestrator クラスタを展開してから、古い設定のバックアップを復元する必要があります。リリース 3.3(1) 以降で作成されたバックアップを古い NDO クラスタに復元することはサポートされていません。

Nexus Dashboard Orchestrator の以前のリリースにダウングレードする場合は、すべてのクラウド APIC サイトをリリース 5.2(1) より前のリリースにダウングレードする必要もあります。

Cisco App Store を使用した NDO サービスのアップグレード

ここでは、Cisco Nexus Dashboard Orchestrator リリース 3.2(1) 以降をアップグレードする方法について説明します。

始める前に

- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#) で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。
- Cisco DC App Center が Nexus ダッシュボードから管理ネットワーク経由で直接、またはプロキシ設定を使用して到達可能であることを確認します。

Nexus ダッシュボードのプロキシ設定については、『[Nexus Dashboard User Guide](#)』を参照してください。

手順

ステップ 1 Nexus Dashboard にログインします。

ステップ 2 左のナビゲーションメニューから **[サービス カタログ(Service Catalog)]** を選択します。

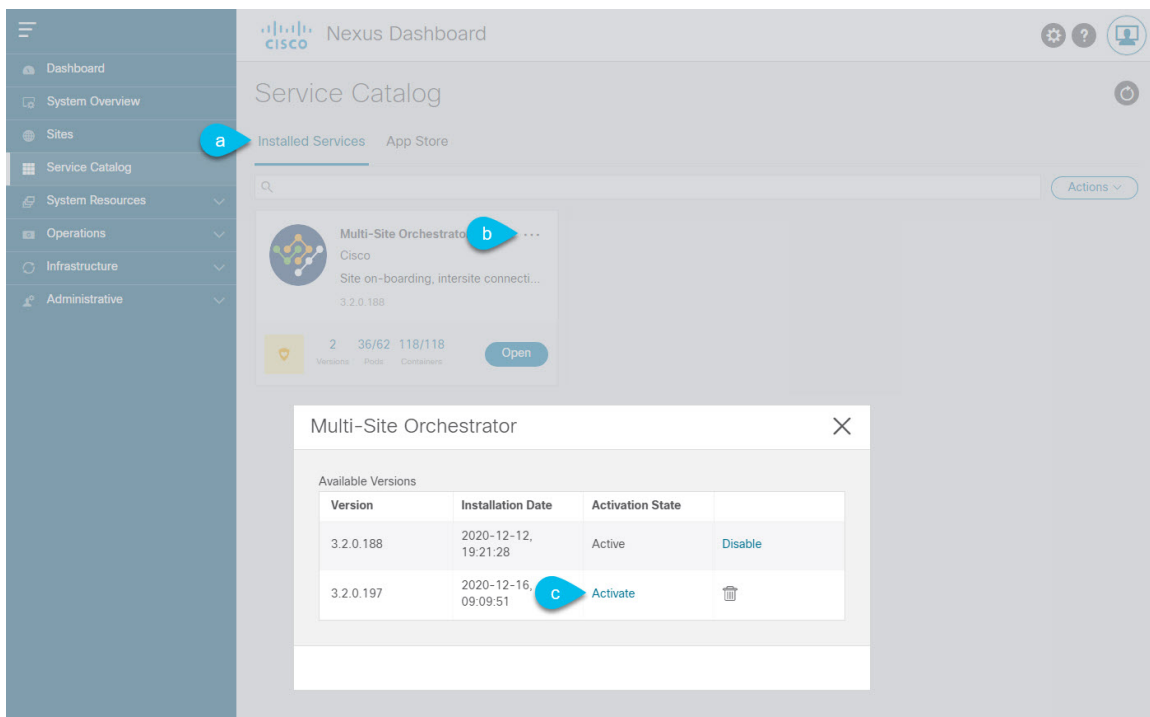
ステップ 3 App Store を使用してアプリケーションをアップグレードします。

- [サービス カタログ (Service Catalog)]** 画面で、**[App Store]** タブを選択します。
- [Nexus Dashboard Orchestrator]** タイルで、**[アップグレード (Upgrade)]** をクリックします。
- 開いた **[License Agreement]** ウィンドウで、**[同意してダウンロードする (Agree and Download)]** をクリックします。

ステップ 4 新しいイメージが初期化されるまで待ちます。

新しいアプリケーションイメージが使用可能になるまでに最大 20 分かかることがあります。

ステップ 5 新しい画像をアクティブにします。



- [サービス カタログ (Service Catalog)]** 画面で、**[インストール済みのサービス (Installed Services)]** タブを選択します。
- [Nexus Dashboard Orchestrator]** タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、**[使用可能なバージョン (Available Versions)]** を選択します。

- c) [使用可能なバージョン] ウィンドウで、新しいイメージの横にある **[起動 (Activate)]** をクリックします。

(注)

新しいイメージをアクティブにする前に、現在実行中のイメージを**無効**にしないでください。イメージアクティベーションプロセスは、現在実行中のイメージを認識し、現在実行中のアプリケーションバージョンに必要なアップグレードワークフローを実行します。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了すると、自動的に再ロードされます。

ステップ6 (任意) 古いアプリケーションイメージを削除します。

ダウングレードする場合に備えて、古いアプリケーションバージョンを保持することもできます。または、この手順の説明に従って削除することもできます。

- a) **[サービス カタログ (Service Catalog)]** 画面で、**[インストール済みのサービス (Installed Services)]** タブを選択します。
- b) [Nexus Dashboard Orchestrator] タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、**[使用可能なバージョン (Available Versions)]** を選択します。
- c) 使用可能なバージョンのウィンドウで、削除するイメージの横にある削除アイコンをクリックします。

ステップ7 アプリケーションを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexus Dashboard の **[サービスカタログ (Service Catalog)]** ページのアプリケーション タイルで **[開く (Open)]** をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus Dashboard で使用したものと同じクレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

NDO サービスの手動アップグレード

ここでは、Cisco Nexus Dashboard Orchestrator リリース 3.2(1) 以降をアップグレードする方法について説明します。

始める前に

- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#) で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。

手順

ステップ1 ターゲット リリース イメージをダウンロードします。

- a) [Nexus Dashboard Orchestrator service DC App Center]ページを参照します<https://dcappcenter.cisco.com/multi-site-orchestrator.html>。
- b) [バージョン (Version)] ドロップダウンから、インストールするバージョンを選択し、[ダウンロード (Download)] をクリックします。
- c) ライセンス契約に同意し、イメージをダウンロードします。

ステップ 2 Nexus Dashboard にログインします。

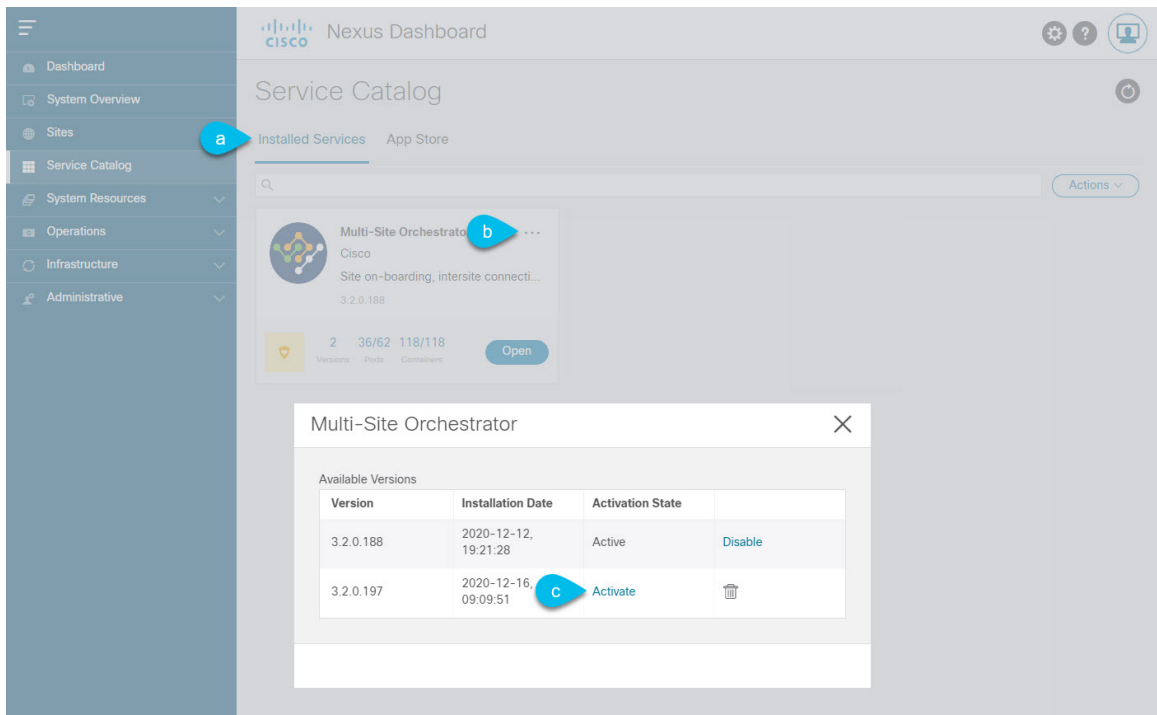
ステップ 3 Nexus Dashboard にイメージをアップロードします。

- a) 左のナビゲーション メニューから [サービス カタログ (Service Catalog)] を選択します。
- b) Nexus Dashboard の [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みのサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- c) メイン ペインの右上にある [アクション (Actions)] メニューから、[アプリケーションのアップロード (Upload App)] を選択します。
- d) [アプリケーションのアップロード (Upload App)] ウィンドウで、イメージの場所を選択します。
アプリケーション イメージをシステムにダウンロードした場合は、[ローカル (Local)] を選択します。
サーバでイメージをホストしている場合は、[リモート (Remote)] を選択します。
- e) ファイルを選択します。
前のサブステップで [ローカル (Local)] を選択した場合は、[ファイルの選択 (Select File)] をクリックし、ダウンロードしたアプリケーション イメージを選択します。
[リモート (Remote)] を選択した場合は、以下のように、イメージ ファイルへの完全な URL を入力します。(http : //<ip-address> : <port> /<full-path> /cisco-mso-<version> .aci
- f) [アップロード (Upload)] をクリックして、アプリケーションをクラスタに追加します。
アップロードの進行状況バーとともに新しいタイルが表示されます。イメージのアップロードが完了すると、Nexus Dashboard は新しいイメージを既存のアプリケーションとして認識し、新しいバージョンとして追加します。

ステップ 4 新しいイメージが初期化されるまで待ちます。

新しいアプリケーション イメージが使用可能になるまでに最大 20 分かかることがあります。

ステップ 5 新しい画像をアクティブにします。



- [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みのサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- [Nexus Dashboard Orchestrator] タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[使用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- [使用可能なバージョン] ウィンドウで、新しいイメージの横にある [起動 (Activate)] をクリックします。

(注)

新しいイメージをアクティブにする前に、現在実行中のイメージを無効にしないでください。イメージアクティベーションプロセスは、現在実行中のイメージを認識し、現在実行中のアプリケーションバージョンに必要なアップグレードワークフローを実行します。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了すると、自動的に再ロードされます。

ステップ6 (任意) 古いアプリケーションイメージを削除します。

ダウングレードする場合に備えて、古いアプリケーションバージョンを保持することもできます。または、この手順の説明に従って削除することもできます。

- [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みのサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- [Nexus Dashboard Orchestrator] タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[使用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- 使用可能なバージョンのウィンドウで、削除するイメージの横にある削除アイコンをクリックします。

ステップ7 アプリケーションを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexus Dashboard の [サービスカタログ (Service Catalog)] ページのアプリケーション タイルで **[開く (Open)]** をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus Dashboard で使用したのと同じクレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。